

第2回 下野市総合計画市民懇話会
グループ発表まとめ

日 時 平成22年11月30日(火) 午後1時30分～4時30分
場 所 下野市きらら館会議室
出席委員 陣内雄次会長、吉田武雄委員、尾花重吉委員、海老原新子委員、山口和男委員、加藤芳江委員、鈴井祐孝委員、木村保弘委員、大橋正明委員、今井清起委員、大塚博委員
欠席委員 細川剛規委員、松本文男委員、石島勇委員

【テーマ】

下野市における生活基盤の良いところと悪いところについて

・・・良いところ

・・・悪いところ

(良いところと悪いところを書き出した後、それぞれ関連する項目ごとに集約・グループ化し、グループ間の関係性について整理)

Aグループ

【安全・安心のまちづくり】

(1) 防災 市民の意識の向上

消防関係がしっかりしている

防火クラブでの事業で毎年、消火競技を行っています。家庭の主婦は消火器の使い方も知らないで、皆勉強になったと喜んでいきます

防災関係(急を要する時の市民への周知、対応の仕方が心配)

(2) 防犯対策の強化

防犯灯の件。新幹線の下が上三川高校生が夜遅くまで通るが少し暗い

街の中がシャッターのおりたところが多く、商店街も夕方早くから暗くなっている

(3) 商店の活性化

・商店の活性化が図られれば、(2)防犯対策の強化につながるのではないかと

買物が不便

(4) 交通安全対策の強化

学童の登校、下校の交通安全の徹底

交通弱者対策。コミュニティ交通

【環境対策】

(1) 公害に対して市民意識が高い

- ・公害に対する意識は(2) ゴミに対する意識と結びつくのではないか。
住民の一致団結による公害対策
環境対策への理解が深まりつつあるが、今ひとつか？

(2) ゴミに対して市民・行政とも意識が高い

- ゴミ収集場所の清掃が現在はどこでもきれいになっている
- ゴミ収集は良い
- 山の中のゴミが減ってきている
- ゴミの山林への不法投棄

(3) 河川の環境対策

- 姿川の水が汚染されている
- 姿川の土手の整備が悪い
- 循環社会のしくみ
- 側溝の管理が不十分

(4) 空地管理の徹底 市街化区域・調整区域

- ・空地の管理がされれば、防犯対策の強化へつながるのではないか。
空地の管理が悪い
- 休耕田が荒れ放題になっている
- 住環境があまり良くない(4S)
- 環境 耕作放棄地の問題

Bグループ

(1) 消防・防災

防災を呼びかける消防車が夜間に通る

公の建物でまだ耐震診断も未完のところが多いのは許せない。阪神の地震に勉強していないか

消防組織がなされている

しかし

消防団員の確保に苦労している

(2) 防犯

<安心>

防犯パトロールをしているので安心である

防犯について市の広報が足りない

パトカーで防犯を呼びかけるのが無い

盗難自転車などの回収が遅い

⇕

<マナー>

地区によると思うが、道で会った時に挨拶を交わす

子どもで挨拶をしない人がいる（こちらから声をかけても）

(3) 安全・安心

道路の横断の標識。手押式のところで変り方が遅い

(4) 消費

食糧問題も真剣に勉強会をやっている

消費生活の向上について職員？がもっと指導する場をつくってもら

(5) ゴミ処理

ゴミ分別がきちんとされている

ゴミ集積業者の態度が良い

処理業者の対応が良い

ゴミ処理業者が良い

向冬に際して地区により落ち葉等処理法がバラバラ（清掃している）

早くリサイクルセンターをつくる

リサイクル（学生服、ランドセル、楽器）がうまく行っていない

一般家庭でゴミの焼却をされる場合があり、市広報をしっかりとすること

落ち葉を処理する地区とそのまま放置している地区がある

ゴミ処理場の建設について不安

ゴミ有料化がいささか気になる

(6) 条例

5 - D だけれども環境基本条例は策定する時期に来ているのでは。

(7) 上水道

上水道はよく運営されていると思う

上水については、工業用水・農業用水についても明確にしないといけない

(8) 下水道

下水道の PR が足りないように思う

快適な水環境。下水に流す際、捨てるゴミと分別しない

水処理の広域行政を理解しないといけないかも

下水道処理区域内の家庭で未接続があり、市の努力が足りない

生活廃水がそのまま流されている

(9) わがまち自慢

エネルギーについて、当地冬期の日射量は全国的にも多いので、これを資産として取り組むべし

(10) 広報

市のアピールが弱い(知名度向上)。鉄道の駅で下野駅がない

(11) 軸・核

一部市内が線路により東西で分断されている

線路より東側に商業施設が集中しているが、西側住民には徒歩や自転車では不便
まちづくり三法ができているが、商店街の身近な閉店から買い物難民の恐れあり

【テーマ】

下野市における都市基盤の良いところと悪いところについて

・・・良いところ

・・・悪いところ

(良いところと悪いところを書き出した後、それぞれ関連する項目ごとに集約・グループ化し、グループ間の関係性について整理)

Aグループ

(1) まちなみ・景観 歴史・創出

・景観や歴史を活かしたまちなみを創ることが(3)人に優しい交通・道路環境の整備につながるのではないか。

電柱の地中化で道路は整備され、きれいになった

景観が良くない

歴史的遺産がまちづくりに生かされていない

古い歴史と伝統のある町などで、そのにおいのあるまちなみ景観を！

まちなみ景観ですが、駅前の商店街の整備

(2) 土地利用対策・拠点づくり

早い時期に土地区画事業への取り組み

インフラが脆弱

都市の拠点づくり

土地利用にメリハリを

民間の住宅対策への計画的誘導

多様な機能の集積づくり

用途地域内が不適切

庁舎が一つになっていない

(3) 交通・道路環境(交通弱者・道路整備)

道路整備はバリアフリーも進んでいて住みよいと思う

交通弱者対策。循環バス、借り上げタクシー等、3 駅の利用しやすくする

福祉施設へのバスが空気を運んでいると言われているので、バスでなくワゴン車にしたらどうでしょうか

通学路に歩道がないところが多い

公共交通の整備 コミュニティ 広域連携

舗装道路の補修が遅い

自転車の利活用の基盤

(4) 公園緑地(街中の公園・緑化)

・公園の緑地化は(5)都市づくりにつながるのではないか。

小さい公園が多くある

公園管理について、管理費について以前は自治会が負担していましたが、今は市が負担してくれていることはよいことである

街中の都市緑化が弱い

新しいまちづくりには公園が作られているが、昔からの街中には公園が少ないと思う

駅広場がない

(5) 都市づくり視点

・都市づくりをする際、(2) 拠点づくりを意識した土地利用を図り、交通弱者にも配慮した道路交通環境を整えることも必要ではないか。

環境保全に対して意識が低い(温暖化...)

Bグループ

(1) 街並みの景観

- ・街並みの景観を考えるうえでは(4)公共交通のあり方も関連するのではないが。
市街化区域内の住環境は良くなっている。街並みの景観が良い
住宅街が整備されている
シャッターや扉が閉まったままの街並みはやはり淋しい

(2) 土地利用

- 区画整理および農用地の基盤整備はされている
都市環境を計画的に進めている。遅々としているが。
仁良川土地区画整理事業の費用対効果の再評価をする
宅地供給は未だ必要なのか？
残念だが、圃場整備が進むとどうしても生物が減る。ビオトープも計画通り作ってもらいたい
空地を利用して貸し農園を作る
耕作放棄地の有効利用を官・民合わせて協議する時機に来ている

(3) 道路整備

- 道路整備、舗装率も大まか良好
新国道4号にできる道の駅は有効で強力な基盤になる
道路・橋梁の整備はよい
農道が整備されている
自治医大前通り南方向の小金井地区から小山市への接続が望ましい
自治医大より南に抜ける通りの道が狭い(小山市の方は広がっている)
小山地区については道路が整備されているが、反面、下野地区については道幅は狭く自動車が通行するのも子どもや老人には危険
舗装状態は業者によって良いところと悪いところがある(凸凹、コンクリートの割れ)
道路整備の状況がアンバランスである
道路側溝の清掃がされていない
未舗装道路を早急に舗装されたい(田園地区)
道路にミラーの設置が少ない(T字交差点)
新4号を抜ける道(東・西)が車1台の狭い道が多い

(4) 公共交通とその周辺

- ・公共交通のあり方を考えるうえでは(3)道路整備も関連するのではないが。
鉄道の駅が3つあり、利便性が高い
人に優しいバリアフリーの工事はありがたい。休憩所(待合)もつくってくれた
旧4号道路について一部バリアフリー化されたところもある
普段気がつかない橋梁の整備もしてくれている 安全はまちづくりが進んでいる

駅前の空き商店が多い

スーパー・コンビニ、一般商店が無雑作であり、閉店したまま駐車場などになっている

駅が3つあるため、中心街が不明確になっている

高速交通網のI.Cなどがなく、通過するだけの場所になる可能性がある

(5) 交通弱者対策

- ・交通弱者対策を行ううえでは(2)公共交通のあり方も関連するのではないかな。

市有バスの有効利用

高齢にともない、病院等に通うミニバスが必要

バス(道路)交通は不便である。関東交通バスは昔、石橋から独協大まであったが今は無い

弱者(交通弱者)への対応もいずれ迫ってくる

(6) 公園緑地

公園緑地等の整備は人口に比して良い

公園・池の整備が良い

自然が豊かだと思っているようだが平地林は民有地が多く荒れている

公園が多くあるが、遊んでいる人がいない

公園内の清掃が完全でない。一部自治会に頼るところがある

公園・街路の除草は地域住民でするようにしていきたいもの

生物多様性(Biodiversity)は当市も未だ残っている。COP10、MOP5をもっと市民に知らせたら...

(7) 緑が多い

- ・市内の緑地を考えるうえでは(6)公園緑地も関連するのではないかな。

植樹も計画的で良い

自然林(天平の森)、国分寺跡、国分尼寺跡の植栽が良い

姿川の夕景が素晴らしい場所がある

「緑の基本計画策定」にも手をつけたい

緑を増やすため、木を植えるよう進めても管理が大変である

まちなみ景観のほか、田園とのコラボレーションもなかなかのもの。写真コンテストでもっと良い所を売り出そう!

森づくり県民税の使われ方がよくわからない

やはり「環境基本条例」は時代の流れだから策定にかかろう

(8) 通信

光ファイバーが敷設されてスピードがグンと上がった。インフラが充実したと実感!!

以上